

みずほCustomer Desk Report 2024/09/19 号(As of 2024/09/18)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	141.62
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	141.96	1.1122	157.78	1.3168	0.6761
SYD-NY High	142.71	1.1189	158.37	1.3298	0.6820
SYD-NY Low	140.45	1.1097	157.09	1.3157	0.6742
NY 5:00 PM	142.27	1.1118	158.25	1.3214	0.6764
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,503.10	▲ 103.08	日本2年債	0.3700%	▲0.0100%
NASDAQ	17,573.30	▲ 54.76	日本10年債	0.8200%	0.0000%
S&P	5,618.26	▲ 16.32	米国2年債	3.6255%	0.0207%
日経平均	36,380.17	176.95	米国5年債	3.4921%	0.0499%
TOPIX	2,565.37	9.61	米国10年債	3.7123%	0.0657%
ソコ日経先物	36,520.00	▲ 60.00	独10年債	2.1895%	0.0445%
ロンドンFT	8,253.68	▲ 56.18	英10年債	3.8455%	0.0780%
DAX	18,711.49	▲ 14.59	豪10年債	3.8550%	0.0350%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	12.16%	▲0.49%
上海総合	2,717.28	13.19	USDJPY 3M Vol	11.71%	▲0.20%
NY金	2,598.60	6.20	USDJPY 6M Vol	10.83%	▲0.07%
WTI	69.88	▲ 0.08	USDJPY 1M 25RR	▲1.37%	Yen Call Over
CRB指数	279.82	1.16	EURJPY 3M Vol	10.60%	▲0.08%
ドルインデックス	100.60	▲ 0.30	EURJPY 6M Vol	10.10%	▲0.04%

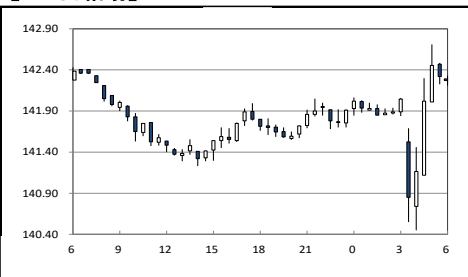
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月18日	08:50	日 貿易収支	8月 -¥695.3b	-¥1432.4b
	15:00	英 CPI(前年比)	8月 2.2%	2.2%
	18:00	欧 CPI(前年比)・確報	8月 2.2%	2.2%
	21:30	米 住宅着工件数	8月 1356k	1318k
9月19日	21:30	米 建設許可件数	8月 1475k	1410k
	03:00	FOMC政策金利 上限/下限	- 5.00%/4.75%	5.25%/500%
	03:30	米 FRB議長会見「FOMC予測、何ら急いでいる姿勢示唆せず」		

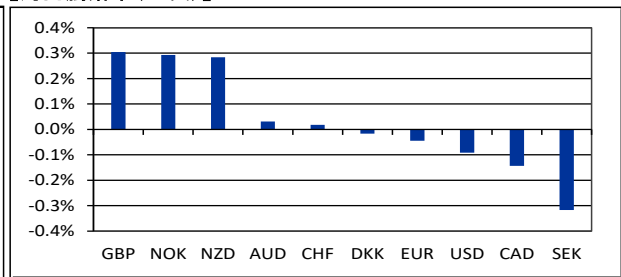
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月19日	10:30	豪 雇用者数変化	8月 26.0k	58.2k
	10:30	豪 失業率	8月 4.2%	4.2%
	20:00	英 政策金利	- 5.00%	5.00%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	9月 0	-7
9月19日	21:30	米 新規失業保険申請件数	14-Sep 230k	230k
	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 3.90m	3.95m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.50-143.50	1.1080-1.1180	157.00-159.50

【マーケット・インプレッション】

昨日、FOMCは4年半ぶりの利下げに舵を切った。50bpの大幅利下げだけでなく、失業率の上方修正、インフレ率の下方修正などを受け、一時140.45まで急落。一方、『50bp利下げが今後継続するペースだと想定すべきではない』とのパウエル議長の発言を受けて米金利が下げ幅を縮小すると、ドル円は142円台後半まで反発。結局のところ、ドル円相場の方向感を見出すには至っていない。

FOMCを無難に通過し、次の焦点は、本日から明日にかけて開催される日銀金融政策決定会合に移る。今会合では政策金利据え置きが大方の想定となっているが、直近でも中川審議委員、田村審議委員と今後の利上げに積極的な姿勢を示していることから、植田総裁の会見にて年内の追加利上げに向けた地均しが行われる可能性が警戒される。本日は、FOMCの消化と日銀会合に向けたポジション調整に終始するとみられ、上値の重い推移を予想する。

東京	東京時間のドル円は141.96レベルでオープン。本日開催されるFOMCの結果公表を控えて、改めて▲50bpの利下げが意識されてか、オープン直後からじりじりと水準を切り下げ、一時141.23まで下落。一巡後は動意に欠ける展開となり、結局141.59レベルで欧州に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、141.59レベルでオープン。FOMC待ちで材料難の中、若干円安気味の推移、一時141.99まで上昇し141.86レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3170レベルでオープン。朝方発表の英8月CPIが予想通りとなり英米の金利差の拡大を見込んでポンドは堅調。1.3227まで買われ1.3210レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は142円台半ばでスタート。FOMCの結果発表を控え、ドル売りが先行し、141.23まで下落。その後は売上一巡となり、徐々に値を戻し、141.86レベルでNYオープン。午前中は米金利の上昇に追随し、142.07まで上昇。午後はFRBが50bpsの利下げを決定し、政策金利を4.75%-5.00%に引き下げた。同時に発表された声明文では、2024年から2026年までの失業率が上方修正された他、GDPとコアPCEインフル率も下方修正された、ハ派色の強い内容となり、発表後は140.45まで売られる。しかし、その後に行われたパウエル議長の記者会見では、『50bpの利下げ、新たなペースと見なすべきではない』、『今後の利下げペースは急がない』等と発言を受け、米金利が戻す展開に伴い、142.71まで反発し、142.27レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.11台半ばでスタート。FOMCの結果発表を控え、1.1120付近で様子見姿勢が広がり、1.1125レベルでNYオープン。午前中は1.1130付近での動きが続く。午後はFRBによる50bpsの利下げが発表されると、ドル売りが優勢の中、1.1189まで上伸。しかし、その後はパウエル議長の記者会見の内容を受け、ドルの買戻しが上値を抑え、1.1097まで反落し、1.1118レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。